

STRAIGHT EZ RAIL

ストレート イージー レール

住宅用屋外手すりシリーズ

取扱説明書/施工要領書

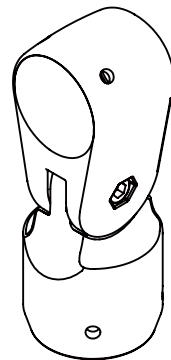
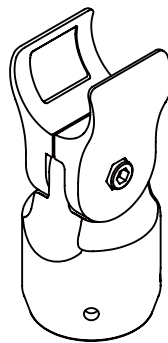
このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管してください。

【施工業者様へ】

施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】





本書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方に本書をお渡しください。



支柱用自在ジョイント
(EZ-10US)

支柱用エンドジョイント
(EZ-11US)

マークの種類について

-  警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容
-  注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
-  禁止行為
-  必ず行う

使用上のご注意

利用者用

- ❌ 強い衝撃を与えない。

製品に物をぶつかけたり、強い衝撃を与えない。手すりや支柱、ブラケットが破損し思わぬケガの原因になる。



- ❌ 火を近づけない。

製品にタバコなどの火を近づけない。変形、変色の原因になる。



- ❌ 手すり棒に乗ったり、ぶら下がらない。

製品に乗ったりぶら下がらない。支柱やブラケットが破損し、思わぬケガの原因になる。



- ❌ 破損があるものは使わない。

手すり部分にささくれ、大きなへコミ等の破損がみられた場合はすぐに使用を止める。手にケガをする恐れがある。



警告

- ❌ 製品に無理な力を加えない。

本製品を無理に押ししたり、引いたりしない。手すり棒がたわんだり、支柱やブラケットが破損し、思わぬケガの原因になる。



- ❗ 手すり部分にささくれ等の破損がある場合はすぐに使用を止めて、施工店またはマツ六に連絡する。



- ❌ 製品を分解・改造しない。

固定部のボルト等をゆるめたり、製品を分解・改造したりしない。使用時に脱落したり予期せぬ故障の原因になるばかりか、重大事故につながる場合がある。



お手入れ方法

利用者用

- 手すり棒や支柱、ブラケットは定期的にやわらかい布で拭き、清掃する。
- 汚れがひどい場合は中性洗剤をしみこませた布で拭き、その後水拭きをする。
- 仕上げにから拭きして、水分を完全に取り除く。

注意

- ❌ 酸性、アルカリ性洗剤、ベンジン、シンナー等は使用しない。

酸性、アルカリ性洗剤、ベンジン、シンナー等はツヤがなくなったり、変形、変色の原因になるので使用しない。



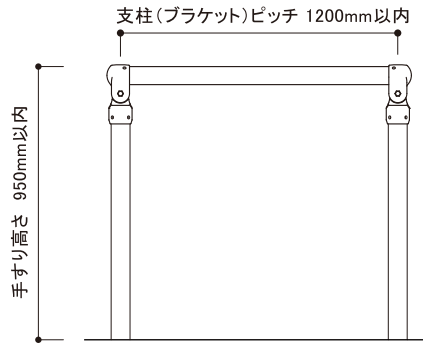
- ❌ クレンザー、磨き粉、ナイロンタワシは使用しない。

クレンザーや磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤、ナイロンタワシなどのキズを付けやすいものは使用しない。



警告

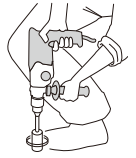
- ❗ 手すり高さ、支柱(ブラケット)ピッチは下記の寸法を必ず守る。



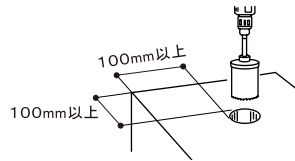
- ⊘ 他シリーズ(フリーRレールを含む)や他社製品との併用は絶対に行わない。

- ⊘ コア抜きは両手だけで行わない。

コンクリートのコア抜きは振動ドリルに膝等を当て、両手だけでは行わない。コンクリート内の鉄筋にコアドリルが当たると、振動ドリルにカウンタートルクが働き、骨折などケガをする恐れがある。

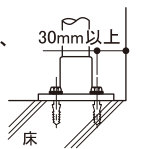


- ❗ ヘリあき寸法は100mm以上はなす。



- ❗ 壁とアンカー位置は30mm以上はなす。

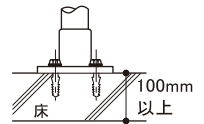
チョークラインは65mm以上(タイル目地に合わせる場合は80mm以上)はなす。壁からアンカーを充分にはなさない場合、充分な強度が出ない場合がある。



- ❗ 独立基礎に施工する場合は、250×250×H500mmのコンクリート基礎とする。

- ❗ 床面コンクリートの厚みに注意する。

床厚が100mm以上無い場合は取付けできない。充分な強度が出ない。



- ❗ タイルにコア抜きする場合は、割れないように十分注意する。

まれにモルタル硬化後に、タイルにヒビが入ることがあるので、事前に施主に確認する。

- ❗ 手すり棒を仮止めする際は、必ず2本(個)以上の支柱(ブラケット)へ手すり棒をのせて作業を行なう。

ねじや支柱(ブラケット)が破損する原因になる。

注意

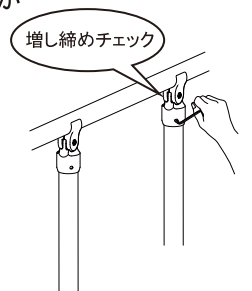
- ❗ 施工時、製品に付着した切り粉やモルタルは速やかに清掃する。

表面にキズがつき腐食の原因になる。モルタルに急結剤を混ぜない。塩化物を含むモルタル・コンクリートを使用しない。アルミと反応し支柱を腐食させる恐れがある。



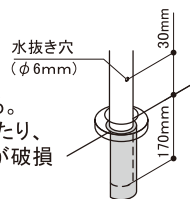
- ❗ 施工完了後、ねじの締付けが十分なことを確認する。

ねじがしっかりと固定されていることを確認する。ねじの固定が不十分だと、予期せぬ故障や重大事故につながる可能性がある。



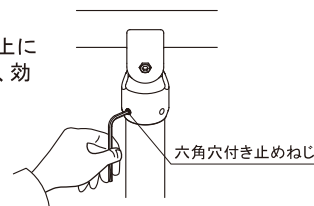
- ❗ 支柱を埋め込む場合は、必ず水抜き穴をあける。

水抜き穴は、必ず床上来るようにする。あいていない場合、腐食の原因となったり、支柱内部に溜まった水の凍結で支柱が破損したりする恐れがある。



- ⊘ 六角穴付き止めねじは強く締付け過ぎない。

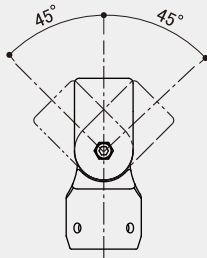
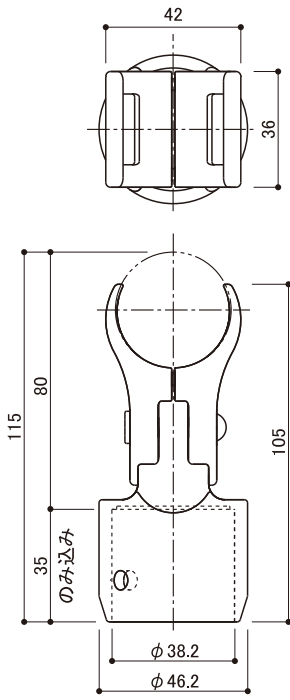
六角穴付き止めねじは必要以上に強く締付けない。ねじが破損し、効かなくなる恐れがある。



- ⊘ ブラケット及び支柱は、ALC・木下地に取付けない。

支柱用自在ジョイント

(単位:mm)



【角度調整範囲】

同梱部品



六角穴付き止めねじ (M6×4mm)

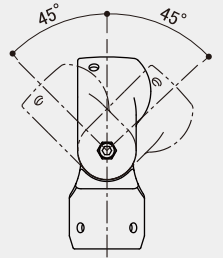
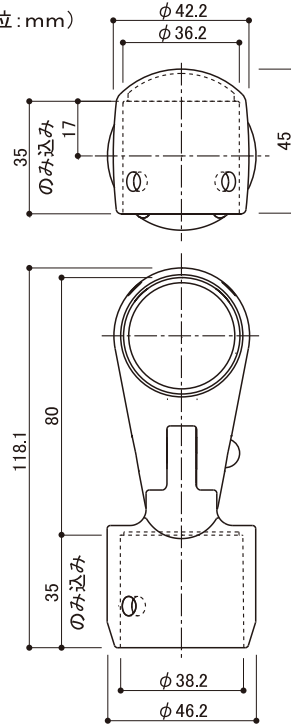
【数量】2本
【材質】ステンレス

※六角棒スパン(呼び3mm、5mm)が別途必要です。

支柱用自在ジョイント 【数量】1個
本体 【材質】アルミ合金

支柱用エンドジョイント

(単位:mm)



【角度調整範囲】

同梱部品



六角穴付き止めねじ (M6×4mm)

【数量】4本
【材質】ステンレス

※六角棒スパン(呼び3mm、5mm)が別途必要です。

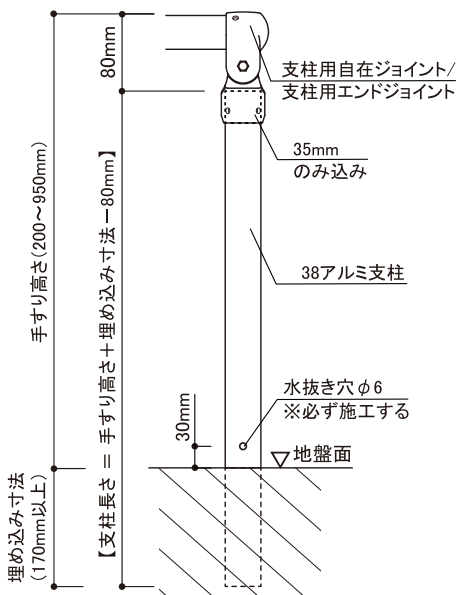
支柱用エンドジョイント 【数量】1個
本体 【材質】アルミ合金

施工手順 支柱の埋め込み方法

施工者用

① 設置位置を決める。

【支柱の切断寸法】

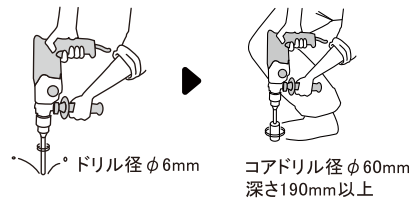


※推奨手すり高さは750~900mm程度 (利用者の身長や身体状況によって異なる。)

支柱は必要寸法以上短くカットしない。

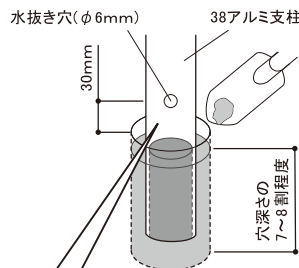
② 穴をあける。

振動ドリルで下穴(φ6mm)をあけ、コアドリル(φ60mm)で深さ190mm以上の穴をあける。



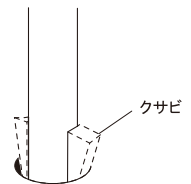
③ 38アルミ支柱を差込む。

あらかじめ床仕上げ面から30mm程度の高さに水抜き穴(φ6mm)をあけておく。次に、穴深さの7~8割あたりまでコンクリートを流込み、38アルミ支柱の内部にコンクリートが充填されるよう挿入する。



水抜き穴は、必ずあける。あいていない場合、腐食の原因となったり、支柱内部に溜まった水の凍結で支柱が破損したりする恐れがある。

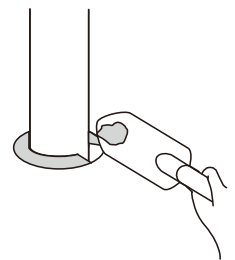
④ 支柱が垂直になるようにクサビで調整した後、穴にモルタルを流込む。



モルタルに急結剤を混ぜない。また、塩化物を含むモルタル・コンクリートを使用しない。アルミと反応し支柱を腐食させる恐れがある。

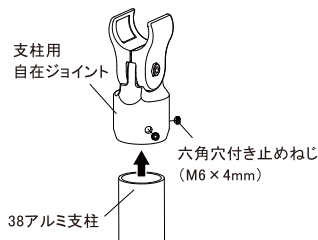
⑤ モルタルで補修する。

モルタルが仮硬化したら、クサビを取り除いて、クサビ跡をモルタルで補修する。



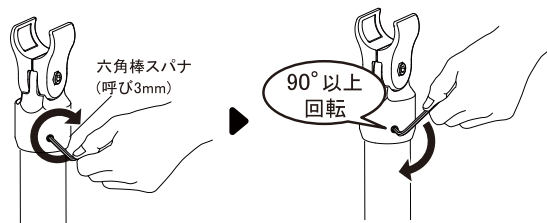
① 38アルミ支柱を差込む。

38アルミ支柱を支柱用自在ジョイントに差込み、六角穴付き止めねじ(M6×4mm)を取付ける。



② 六角棒スパナで支柱用自在ジョイントを固定する。

六角棒スパナ(呼び3mm)の短い柄を持ち、六角穴付き止めねじ(M6×4mm)が回らなくなるまで締付け、次に長い柄を持って90°以上回転させ、増し締めする。



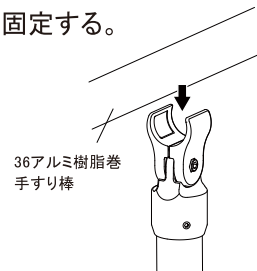
六角棒スパナの短い柄を持ち、回らなくなるまで締込む。

六角棒スパナの長い柄を持って、90°以上回転させ、増し締めする。

必要以上に強く締付けない。
ねじが破損し、効かなくなる恐れがある。

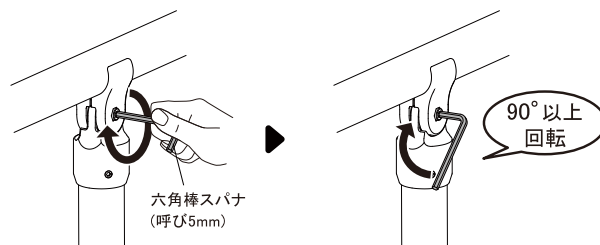
③ 36アルミ樹脂巻手すり棒を仮固定する。

支柱用自在ジョイントに36アルミ樹脂巻手すり棒を挟み、仮固定する。



④ 首振り角度を固定する。

六角棒スパナ(呼び5mm)で首振り角度を固定して完了。



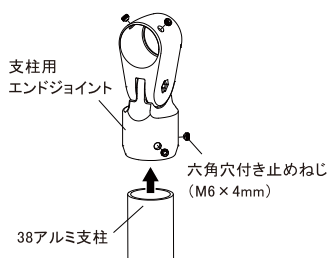
六角棒スパナの短い柄を持ち、回らなくなるまで締込む。

六角棒スパナの長い柄を持ち、90°以上回転させ、増し締めする。

必要以上に強く締付けない。
ボルトが破損し、効かなくなる恐れがある。

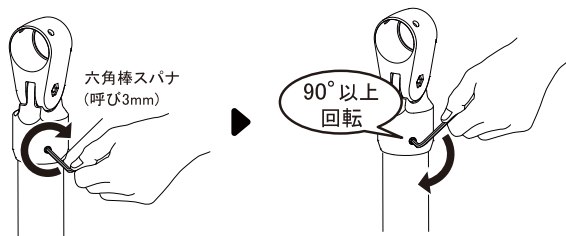
① 38アルミ支柱を差込む。

38アルミ支柱を支柱用エンドジョイントに差込み、六角穴付き止めねじ(M6×4mm)を取付ける。



② 六角棒スパナで支柱用エンドジョイントを固定する。

六角棒スパナ(呼び3mm)の短い柄を持ち、六角穴付き止めねじ(M6×4mm)が回らなくなるまで締付け、次に長い柄を持って90°以上回転させ、増し締めする。



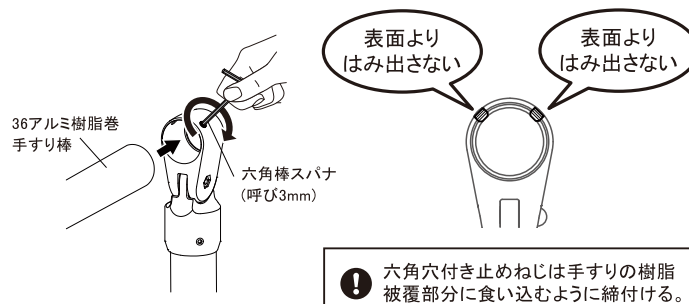
六角棒スパナの短い柄を持ち、回らなくなるまで締込む。

六角棒スパナの長い柄を持ち、90°以上回転させ、増し締めする。

必要以上に強く締付けない。
ねじが破損し、効かなくなる恐れがある。

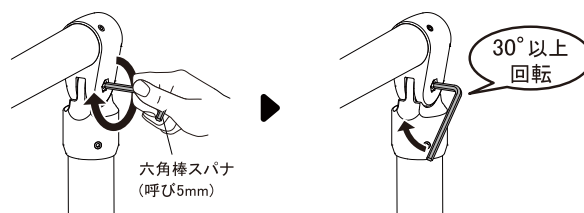
③ 36アルミ樹脂巻手すり棒を固定する。

支柱用エンドジョイントに36アルミ樹脂巻手すり棒を差込み、六角棒スパナ(呼び3mm)で六角穴付き止めねじ(M6×4mm)が表面よりはみ出さないように締め付ける。



④ 首振り角度を固定する。

六角棒スパナ(呼び5mm)で首振り角度を固定して完了。



六角棒スパナの短い柄を持ち、回らなくなるまで締込む。

六角棒スパナの長い柄を持ち、30°以上回転させ、増し締めする。

必要以上に強く締付けない。
ボルトが破損し、効かなくなる恐れがある。